

令和4年度 活動スケジュール

- 6月 総会
- 11月 雪ミク電車運行事業の共催
- 時期未定 清掃活動
- 市電イベントへの出展

市電イベント情報

各イベントの開催状況につきましては、今後、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ変更になる場合がありますので、下記ホームページでご確認願います。

- 中央区
<https://www.city.sapporo.jp/chuo/shiden/index.html>
- 一般財団法人札幌市交通事業振興公社
<https://www.stsp.or.jp>

お知らせ1 令和4年度イベント開催時の路面電車折り返し運行

折返し運行区間（運行中止区間）



月	日	折返し運行時間	イベント名
8月	28日(日)	始発～9:30	北海道マラソン 2022
10月	2日(日)	未定	第47回札幌マラソン

※中止や変更の可能性があります。詳細は、下記お問い合わせまたは（一財）札幌市交通事業振興公社ホームページでご確認ください。

【お問い合わせ】

- ◇ 運行に関すること
（一財）札幌市交通事業振興公社電車事業所 ...TEL 011-551-3944
- ◇ 各イベントに関すること
 - 北海道マラソン 2022
北海道マラソン事務局TEL 011-232-0840
 - 第47回札幌マラソン
札幌マラソン事務局TEL 011-530-5562

お知らせ2 「市電の会」賛助会員募集

市電の会では賛助会員を募集しています。市電の好きな方ならどなたでもご入会できます。賛助会員には、会員バッジ（新規会員のみ）、オリジナル記念品、会報誌「市電のふるさと」を進呈するほか、当会のイベント情報を随時お知らせします。年会費は、個人会員は一口1,000円から、団体会員は一口10,000円からとなります。入会をご希望の方は、市電の会事務局や区内の各まちづくりセンター窓口又はホームページ等においてお申し込みください。詳しくは、中央区ホームページの「市電倶楽部」(<https://www.city.sapporo.jp/chuo/shiden/index.html>)をご覧ください。



【お申し込み・お問い合わせ】
市電の会事務局
〒060-8612 札幌市中央区大通西2丁目9
中央区役所仮庁舎4階
札幌市中央区役所地域振興課内
(まちづくり調整担当)
TEL(011)205-3221 FAX(011)218-0560
E-Mail ch.shidenokai@city.sapporo.jp
※移転の詳細は中央区ホームページ
(<https://www.city.sapporo.jp/chuo/>)にて
ご確認ください

中央区役所の移転に伴い、
市電の会事務局も仮庁舎へ移転しました

札幌市時計台 札幌市民交流プラザ 移転先 〒060-8612
札幌市中央区大通西2丁目9
4階

札幌市役所 カナモトホール(札幌市民ホール)
仮庁舎

大通公園 テレビ塔

JR札幌駅南口から徒歩15分、最寄りの駅は地下鉄大通駅で、徒歩1分です。

市電のふるさと第32号 令和4年8月発行 編集・発行/市電の会事務局 〒060-8612 札幌市中央区大通西2丁目9 中央区役所地域振興課内 電話(011)205-3221

市電のふるさと



No.32 2022



札幌市の100年と振り返る市電のあゆみ

令和4年8月1日に市制100周年を迎えた札幌市の歴史とともに、市電のあゆみを振り返ります。



- 1922年(大正11年) 市制施行
- 1930年(昭和5年) 市営バス事業開始
- 1931年(昭和6年) 大倉シャンツェしゅん工
- 1932年(昭和7年) 鉄北連絡線(国鉄跨線橋)完成
- 1950年(昭和25年) 第1回札幌雪まつり開催
- 1951年(昭和26年) 円山動物園開園
- 1956年(昭和31年) テレビ塔塔体完成
- 1958年(昭和33年) もいわ山ロープウェー営業開始
- 1970年(昭和45年) 人口100万人突破
- 1971年(昭和46年) 地下鉄南北線開業
- 1972年(昭和47年) 札幌オリンピック開催
- 1976年(昭和51年) 地下鉄東西線開業
- 1986年(昭和61年) 冬季アジア大会初開催
札幌芸術の森オープン
- 1988年(昭和63年) 地下鉄東豊線開業
- 1997年(平成9年) Kitara オープン
- 2006年(平成18年) 札幌市立大学開学
- 2011年(平成23年) 駅南通地下歩行空間開通
- 2015年(平成27年) 市電ループ化開業
- 2018年(平成30年) 市民交流プラザ開館
- 2021年(令和3年) 東京五輪マラソン・競歩札幌開催
- 2022年(令和4年) 札幌市制100周年

1918年(大正7年) 開業

札幌電気軌道株式会社が、同年に開催された北海道博覧会を契機に、馬鉄から路面電車に事業を転換。



電車開通記念の花電車(1918年)

1927年(昭和2年) 市電誕生

札幌市が路面電車事業を買収し、市営化される。当時の札幌市の人口は約15万人。



南1条通りを走る電車(1929年)

1964年(昭和39年) 最盛期

路線延長が史上最長の25.03kmに到達。1日に約27万9000人が利用。



利用者と混雑する停留場(1965年)

1974年(昭和49年) 転換期

地下鉄開通を契機に路線廃止が相次ぎ、平成27年のループ化前の路線にまで縮小。



札幌オリンピック記念の花電車(1969年)

2001年(平成13年) 次世代への継承

札幌と函館の路面電車が北海道遺産に選定。



新型低床車両ポラリス登場(2013年)

2021年(令和3年) M101号引退

1961年(昭和36年)に製造され、TCL号とともに「親子電車」の愛称で親しまれていたM101号が、2021年(令和3年)10月31日をもって運行終了。



60年間の運行に幕を閉じたM101号(2021年)

- 1 札幌市交通局所蔵
 - 2 札幌市交通局所蔵
 - 3 札幌市公文書館所蔵
 - 4 札幌市公文書館所蔵
 - 5 市電の会所蔵
 - 6 市電の会所蔵
- 参考文献/札幌市交通事業三十年史
札幌市交通事業小史
さっぽろ文庫22巻 市電物語

令和3年度の市電トピック

新型コロナウイルス感染症予防啓発ラッピング電車の運行

新型コロナウイルス感染症対策に協力する市民や医療従事者の皆さんへの感謝のメッセージと、感染予防を啓発するラッピングが施された新型低床車両「シリウス」3号車が、令和3年6月から令和4年3月まで運行されました。また、「シリウス」1号車には、感染症予防を啓発するメッセージを掲載したステッカーを貼付して運行しました。これらは、札幌市中央区役所と(一財)札幌市交通事業振興公社との協働により、市電を活用した感染予防啓発を目的に実施されたものです。



<ラッピング作業の様子>



<車外ステッカーによる啓発>

雪ミク電車 2022 について

世界的なバーチャル・シンガーである初音ミクの雪像をきっかけに誕生した北海道を応援するキャラクター「雪ミク」。この「雪ミク」デザインを車体にラッピングした市電を平成23年から毎年、冬期間に運行しています。この取り組みは、市電と浴槽地域の活性化を目的に、クリプトン・フューチャー・メディア(株)及び(一財)札幌市交通事業振興公社と市電の会とが連携して行っているもの。昨年度(雪ミク電車2022)は運行見送りとなりましたが、今年度(雪ミク電車2023)の実施に向け、関係者間で協議を進めてまいります。



<北海道の冬をイメージした『海』がテーマの雪ミクをデザインした雪ミク電車2022>

©CFM